

設 立 趣 旨 書

近年、子どもが自由に安心して遊べる場所は減少しており、特に自然環境の中で身体を使い、試行錯誤しながら関わる機会は少なくなっています。このような状況は、子どもが自ら考え行動する力や、他者や環境との関係の中で育まれる力を十分に育ちにくくし、地域社会とのつながりの希薄化にもつながっています。

私たちが望むのは、子どもが自然環境の中で主体的に遊び、学び、経験を重ねることを通して育つ社会です。自然の中での活動を通じて身につく「生きる力」だけでなく、自らの力を他者や社会に働きかけ、関係性の中で活かしていく「生かす力」が育まれることが、子どもの生活環境の向上と持続可能な地域社会の実現につながると考えています。

このような社会的課題に対し、私たちはこれまで「NPO 法人もあなキッズ自然楽校」に関わり、森や海を主なフィールドとした自然環境活動を実践してきました。自然の中での継続的な遊びや探究活動、火やナイフなどの基礎的な道具を安全管理のもとで扱うプッシュクラフト活動、学童保育の現場における日常的な自然との関わりを通して、子どもが仲間や環境と関わりながら成長していく姿を継続的に見てきました。

こうした経験を踏まえ、新たに NPO 法人オランガルーツを設立し、子どもの育ちを活動の軸に据えながら、地域住民（子どもを取り巻く家庭を含む）や子どもに関わる大人と連携した自然環境活動を継続的に行っていきます。また、自然環境活動を安全に実施するため、MFA 等の野外活動の安全に関する講習や指導者育成にも取り組み、子どもを取り巻く環境全体を支える基盤づくりを進めていきます。

本法人の活動は、会員制で実施する事業と、無収益で地域に開かれた事業を組み合わせる展開します。特に、地域に開かれた遊び場づくり（プレイパーク等）の取り組みは、不特定かつ多数の子どもや家庭、地域住民が参加できる場として、地域社会全体の利益の増進に寄与する公益的な役割を担います。

本法人が取り組む課題は、子どもを起点として地域社会へと広がる社会的課題であり、特定の個人や団体に限定されるものではありません。そのため、任意団体や営利法人ではなく、公益性と透明性が法的に担保された特定非営利活動法人として活動することが最も適切であると考えました。

以上の趣旨に賛同し、ここに「NPO 法人オランガルーツ」を設立いたします。

令和7年12月20日

法人の名称 NPO 法人オランガルーツ

設立代表者 星野 陽介